

第4章 第5次袋井市スポーツ推進計画

1 基本方針

にぎわい ずっと続くまち ふくろい
～スポーツの力でまちを笑顔に～

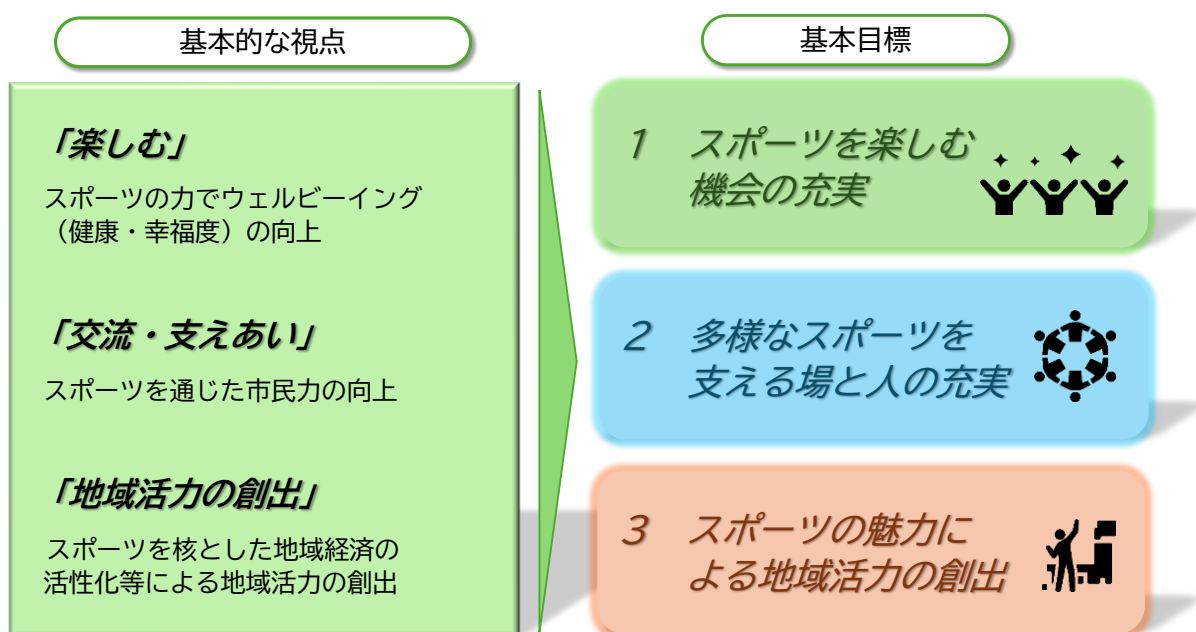
第3次袋井市総合計画では、まちづくりの普遍的理念である「日本一健康文化都市」の健康感を踏まえ、「にぎわい ずっと続くまち ふくろい」をまちの将来像とし、豊かな観光資源や文化・スポーツなどを起点とした多様な交流を通じて、まちの活力創出促進を図っています。

本計画においても、総合計画が目指すまちの将来像の実現を図るため、総合計画と同様の将来像「にぎわい ずっと続くまち ふくろい」を基本方針として定めます。そして、スポーツを「する」、「みる」、「支える」に加え、スポーツの魅力を活用することにより、スポーツに関わるみんなが笑顔になり、そしてその笑顔が新たな活力を生み出し、まちの隅々へと広がり、将来に希望を抱くことができるまちにしていくために、「スポーツの力でまちを笑顔に」と掲げ、スポーツを通じたまちづくりを推進します。

2 基本的な視点と基本目標

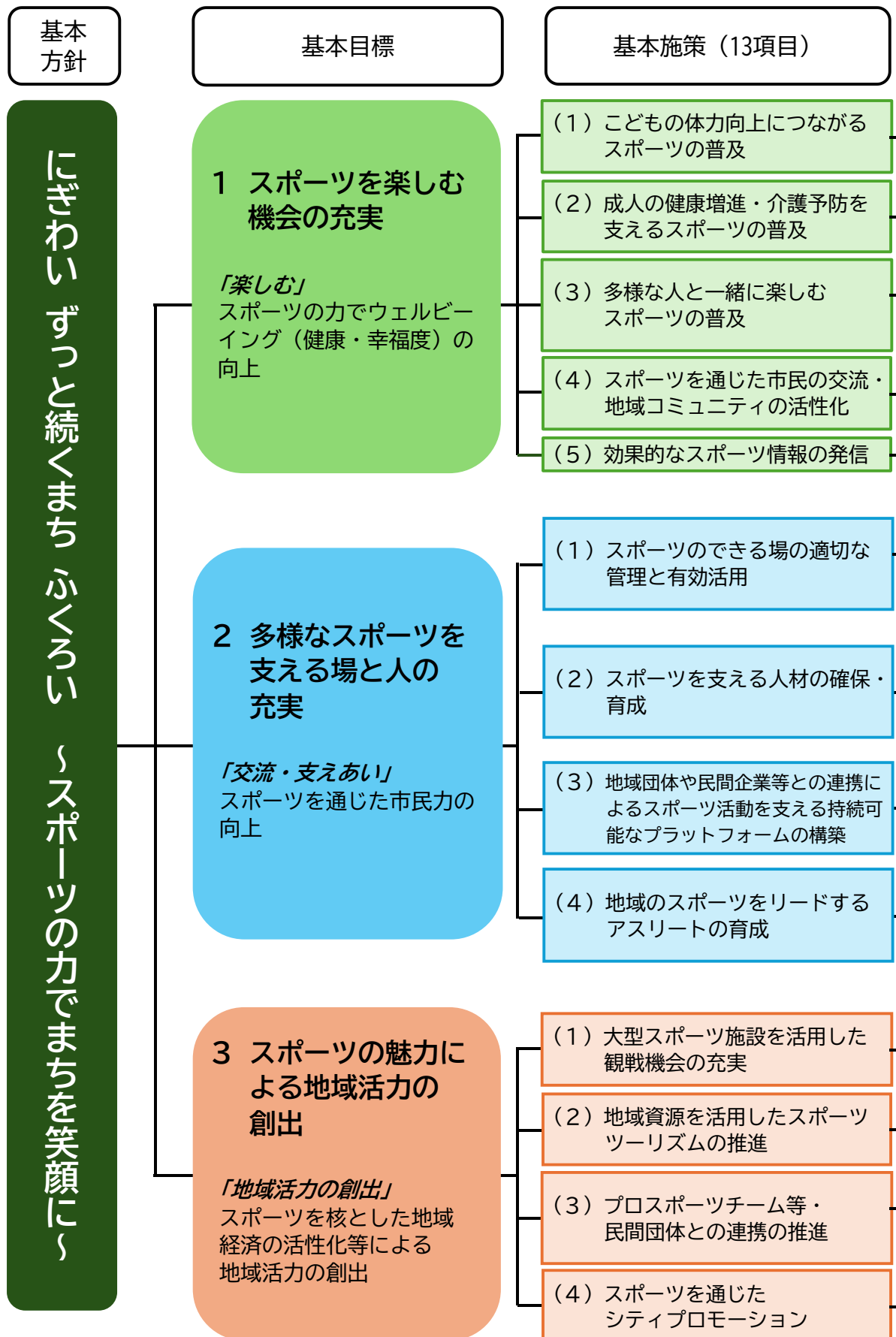
本計画では、これまで大切にしてきた考え方に加え、スポーツを核とした地域の「地域活力の創出」の視点を取り入れ、以下の3点を基本的な視点としてもち、3つの基本目標を設定し、スポーツ推進に取り組みます。

【図表4-1 基本的な視点と基本目標】



3 施策体系

【図表4-2 施策体系】



取組の方向（33項目）

- ① 幼児期からの運動あそびの推進
- ② こどもを取り巻くスポーツ環境の確保・充実

- ① 成人のスポーツ活動の充実
- ② 高齢者のスポーツによる生きがいづくりの推進

- ① 障がい者のスポーツ活動の充実
- ② 誰もが楽しめる障がい者スポーツの普及啓発
- ③ スポーツを通じた多文化共生の推進

- ① 市民スポーツイベントの開催・充実
- ② 地区まちづくり協議会や自治会などのスポーツ活動の支援

- ① 市民への効果的な情報発信と内容の充実

- ① 公共スポーツ施設の適切な維持・管理・運営
- ② 民間のノウハウを活かした施設の管理運営
- ③ 公共施設や公共空間の有効活用

- ① 生涯スポーツ指導員の確保・育成
- ② 競技スポーツ指導者の確保・育成
- ③ スポーツ推進委員の活動の充実
- ④ 障がい者スポーツ指導者の確保・育成
- ⑤ スポーツボランティアの確保・育成

- ① 市スポーツ協会などの活動支援・連携強化
- ② 地域スポーツクラブの活動支援
- ③ 部活動地域展開にともなう持続可能なスポーツ環境の整備

- ① アスリートの育成・支援
- ② トップアスリートとの交流促進
- ③ 優秀なスポーツ選手等の顕彰

- ① 大規模スポーツ大会やプロスポーツなどの観戦機会の創出
- ② 全国規模のスポーツイベントの開催

- ① スポーツによる交流人口の拡大
- ② スポーツの魅力による新たなにぎわいの創出

- ① プロスポーツチームなどとの連携・協働
- ② 民間企業との連携・協働
- ③ 大学との連携・協働

- ① 多様な情報発信者による市内外への情報発信
- ② スポーツを活用したシティプロモーション

4 評価指標一覧

基本目標1 スポーツを楽しむ機会の充実

評価指標	基準値 2024年度 (令和6年度)	目標値 2030年度 (令和12年度)
「運動が好き」と答える児童生徒の割合(小5・中2) [%/年]	60.9	65.0
成人のスポーツ実施率(週1回以上) [%/年]	46.5	58.5
障がい者のスポーツ施設利用者数[人/年]	5,200	5,400
スポーツを全く行わなかった成人の割合 [%/年]	23.5	14.5

基本目標2 多様なスポーツを支える場と人の充実

評価指標	基準値 2024年度 (令和6年度)	目標値 2030年度 (令和12年度)
スポーツ施設の利用者数(エコパを除く) [人/年]	775,139	805,000
市内スポーツ指導者数[人/年]	220	250
スポーツボランティア登録者数[人/年]	110	140
中学生のスポーツ活動への参加割合[%/年]	66.3(参考値) (令和7年中学生アンケート)	65.0
世界大会・全国大会出場件数 [件/年]	45	60

基本目標3 スポーツの魅力による地域活力の創出

評価指標	基準値 2024年度 (令和6年度)	目標値 2030年度 (令和12年度)
スポーツ観戦した市民の割合[%/年]	—	30.0
袋井市スポーツ合宿事業補助金の活用件数 [件/年]	4	10
スポーツチーム等の民間との連携事業数 [件/年]	47	65